

書評会 仁科伸子編著『労働の福祉力 —働きがいのある連帯社会の形成』（明石書店）

日 時：2025年12月22日（月）19：30～21：30

会 場：熊本学園大学 新1号館 2階121教室 ※Zoom同時配信

締 切：2025年12月17日（水）※参加無料。事前申し込み必要。

目次：

- 第1章 歴史的に見た貧困救済と労働の関係性 仁科 伸子（熊本学園大学）
第2章 グローバリゼーションによる社会問題の多様化 仁科 伸子（熊本学園大学）
第3章 移民労働者と社会保障 松本 勝明（熊本学園大学）
第4章 市民権と労働 西崎 緑（熊本学園大学）
第5章 共生と協同を推進する制度 廣田 裕之（法政大学連携教員）
—各国の関連法制を巡る
第6章 事例から考える「働きがいのある連帯社会」 廣田 裕之（法政大学連携教員）
事例Ⅰ 移民労働者を包摂する社会的連帯経済 松本 勝明（熊本学園大学）
—スペインの事例より
事例Ⅱ 難民のドイツ労働市場への統合 仁科 伸子（熊本学園大学）
事例Ⅲ ローガンスクエアにおけるペアレント・メンター事業 金 吾嬬（熊本学園大学）
—参加、エンパワメント、社会的包摂
事例Ⅳ 働くことで、力を得る 仁科 伸子（熊本学園大学）
—小国町サポートセンター悠愛のお姫様Aさん
事例Ⅴ 韓国の労働形成型社会的企業の事例 西崎 緑（熊本学園大学）
事例Ⅵ 社会福祉法人グリーンコープ ファイバーリサイクルセンター
—就労支援事業所での取り組み
事例Ⅶ 社会起業による福祉と労働のクロスオーバー 牧里 每治（関西学院大学名誉教授）
—ソーシャル・ビジネスを手掛りに
事例Ⅷ 自ら求めるサービスを創り出す協同組合の福祉事業 熊田 博喜（武蔵野大学）
仁科 伸子（熊本学園大学）
- 終 章 本書の取りまとめと今後の課題



労働の福祉力

働きがいのある連帯社会の形成

仁科伸子

〔編著〕

松本勝明／西崎緑／廣田裕之
金吾嬬／牧里每治／熊田博喜

明石書店

評者：伊丹 謙太郎（いたみ けんたろう）氏

法政大学連帯社会インスティテュート教授

徳島県出身。東京工業大学社会理工学研究科博士課程単位取得退学。

千葉大学医学部、人文公共学府特任助教等を経て、現職。専門は意思決定科学／公共哲学。研究テーマは、賀川豊彦を軸にした協同組合運動思想史のほか、社会的連帯経済、プラットフォーム協同組合など。本年2月、ILO（国際労働機関）より2冊目の報告書『Decent Work and the Social and Solidarity Economy (SSE) in Japan: Twelve dialogues on the SSE』（ILO Genève, 2025）を刊行。

この研究はJSPS科研費23K20662

「人口減少社会における社会的企業によるエンパワメントに関する社会福祉学的研究」による支援を受けたものです。

【申込方法】

①氏名（フリガナ）、携帯番号、メールアドレス、参加方式（対面式もしくはZoom）を明記のうえ shafuku@kumagaku.ac.jpまでメールにて申し込み

②右記QRコードまたは下記URLから申込フォームを利用
<https://forms.gle/MeiTACL8PiyLcY7D6>

※ご来場の方に限り無料で配本いたします。

〈Zoomでの参加者〉

参加用URLは、12月19日（金）までにメールにてご連絡いたします

※「Zoom」の使用方法・操作方法などのテクニカルサポートは行いませんのでご了承ください

※講演会の録画、録音、撮影は固くお断りいたします。

※ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください（配慮が必要な方はご相談ください）



問い合わせ先

熊本学園大学附属社会福祉研究所（担当：学術文化課）

〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1

Email: shafuku@kumagaku.ac.jp

TEL: 096-364-8731（直通） / FAX: 096-364-5201（専用）

[月～金曜日] 8：45～17：15（12：30～13：30は除く）